

部位

メンテナンススケジュール

自分でできる消耗品交換

5年

10年

15~20年

部位	メンテナンス項目	メンテナンス内容	5年	10年	15~20年	
キッチン	本体	・レンジフード (フィルターなど) ・ガス機器 (五徳、バーナーヘッド、グリル部など) ・IH機器 (グリル部、排気部など) ・浄水器・整水器カートリッジ交換	本体・各機器の 部品点検・交換 費用 1~5万円	レンジフード、 ガス、IHコンロ など機器本体 の点検・交換 費用 20~120万円	本体・各機器の 部品点検・交換 費用 1~5万円	キッチン 本体交換 費用 100~300万円
	ビルトイン 特 電気食器洗機					
洗面	洗面台	・ゴム栓 ・ヘアキャッチャーなど ・ミラー照明 (電球・蛍光灯)	キャビネットの 部品点検・ 交換 費用 1~5万円	本体 点検・交換 費用 15~30万円	キャビネットの 部品点検・ 交換 費用 1~5万円	本体 点検・交換 費用 15~30万円
浴室 バスユニット	本体	・浴槽排水栓 ・風呂ふた ・照明 (電球・蛍光灯)	シーリング材・ドア 点検・補修 費用 5~10万円	シーリング材・ドア 点検・補修 費用 5~10万円	シーリング材・ドア 点検・補修 費用 5~10万円	ユニット本体 点検・交換 費用 100~200万円
	換気扇 特 浴室用 電気乾燥機		換気扇点検・ 部品交換 費用 1~3万円	換気扇点検・ 交換 費用 5~10万円	換気扇点検・ 部品交換 費用 1~3万円	
トイレ	便器・タンク	・リモコン乾電池 ・脱臭カートリッジなど	便器・タンク 点検・部品 交換 費用 1~3万円	便器・タンク 点検・部品 交換 費用 1~3万円	便器・タンク 点検・部品 交換 費用 1~3万円	便器本体 点検・交換 費用 20~30万円
	温水洗浄便座		温水洗浄便座 部品点検・ 交換 費用 1~5万円	温水洗浄便座 本体点検・ 交換 費用 10~15万円	温水洗浄便座 部品点検・ 交換 費用 1~5万円	温水洗浄便座 本体点検・ 交換 費用 10~15万円
給水器具	混合水栓	・シャワーホースなど	機能部点検・ 部品交換 費用 1~5万円	本体 点検・交換 費用 5~10万円	機能部点検・ 部品交換 費用 1~5万円	本体 点検・交換 費用 5~10万円
給湯機 (給湯能力24号)	本体 特 特定機種 <sup>2</sup>		点検・ 部品交換 費用 1~4万円	本体 点検・交換 費用 30~40万円	点検・ 部品交換 費用 1~4万円	本体 点検・交換 費用 30~40万円

設備全般

お引渡し時に住まいの手引き、各設備の取扱説明書は確実に受取り、注意すべき内容の説明を必ず受け、大切に保管してください。日常のお手入れ、困った時の対応、上手な使い方情報、保証内容が記載されていますので、使用開始時は、住まいの手引き、各設備の取扱説明書を良く読んで正しくご使用ください。

長期使用製品  
安全点検制度

特 特定保守製品

製品が古くなると部品等が劣化 (経年劣化) し、火災や死亡事故を起こすおそれがあります。  
「長期使用製品安全点検制度」<sup>1</sup>では、「特定保守製品」を定めています。  
特定保守製品はメーカーに所有者登録することで、適切な時期に点検通知が届きますので、所有者登録をして点検 (有料) を受けましょう。  
対象製品 (特定保守製品) : ビルトイン式電気食器洗機、浴室用電気乾燥機、FF式石油温風暖房機と下記製品<sup>2</sup>  
この制度のお問合せ: 経済産業省ホームページ <http://www.meti.go.jp/>  
個別の製品に関するお問合せ: 各メーカーにお問合せ下さい

<sup>1</sup> 消費生活用製品安全法の改正に伴い創設された制度です。(平成21年4月1日スタート)  
<sup>2</sup> 石油給湯機、石油ふろがま、屋内式ガス瞬間湯沸器 (都市ガス用/プロパンガス用)、屋内式ガスふろがま (都市ガス用/プロパンガス用)

※ 出典: 住宅産業協議会

※ 本ガイドは情報提供を目的として作成したものであり、いかなる契約の締結や解約、商品の購入など、勧誘を目的とするものではありません。また、各費用については一般的な金額から算出したもので、現況や使用部品によっては、必ずしもその範囲に金額が納まるものではありません。あらかじめご注意ください。